

## 令和8年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	情報 I	単位数	2 単位
-----	------	-----	------

### 1 科目の目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

### 2 科目の評価の観点と評価基準

評価の観点	知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
	評価基準	a: 十分満足できる状況 b: おおむね満足できる状況 c: 努力を要する状況	a: 十分満足できる状況 b: おおむね満足できる状況 c: 努力を要する状況

効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。
--	--	---

### 3 評価方法と評価の場面

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
小テストの正答率	課題の記述内容 成果物の制作度合い 演習の解答状況	課題の取り組み状況 課題の振り返り

### 4 年間指導計画

		学 習 の 内 容		考査範囲	時数(予定)
前 期	4月	情報社会の問題解決	ア 情報社会の問題解決	定期考査① (課題①)	22
	5月	コミュニケーションと情報デザイン	ア 情報デザイン		
	6月		イ 情報のデジタル表現	定期考査② (課題②)	18
	7月 8月	コンピュータとプログラミング	ア コンピュータのしくみ		
	9月		イ プログラミングとアルゴリズム	定期考査③ (課題③)	20
後 期	10月			定期考査④ (課題④)	18
	11月 12月	情報通信ネットワークとデータの活用	情報通信ネットワーク		
	1月 2月 3月		データ活用		

### 5 学習にあたってのアドバイスや注意事項

個人が所有するパソコンを利用して授業を行う。授業には毎回、充電したうえで持参すること。

### 6 教科書・副教材

改訂版 情報 I NEXT (数研出版)